

フォト句会 22年11月度成績

開催日：11月8日(火)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：8名＋見学1名

写真出題：清 水

お題： ひたち海浜公園 コキア(ほうき草)の丘



1, 付け句 出題：清水（ひたち海浜公園）

- 1) 天^{てっぺん}辺に人掃き寄せるほうき草 松田昌康
人が頂上へ集まる様を、草の名前を使ってうまく表現した。
- 2) 花の丘スイッチバックで登りたり 大越浩平
ジグザグの上り坂をスイッチバックと詠んだのが成功した。
- 3) 駆け登るこどもは何処へ行ったやら 清水 勝
子供もマナーを守り、道を外れずに登っているのは感心だが。
- 4) 全山を緋色に染めし秋の園 大越浩平
山がコキアで赤一色に染まっている風景を、格調高く詠んだ。

それぞれに憩へる苑や秋深む (進一郎)



南方に旅立つ蝶や

腹ごしらえ（昌康）





鮭の瞳に咆哮の海

宿りけり(晃也)

傍に寄り
何を悩むか
聴いてみよ
(正二)



寸 評:

- 1) それぞれに憩へる苑や秋深む 長尾進一郎
プラタナスの並木道で思い思いに寛ぐ人々を詠んだ。
- 2) 南方に旅立つ蝶や腹ごしらえ 松田昌康
アサギマダラをアップで捉え、優雅さと力強さを表現した。
- 3) 鮭の瞳に咆哮の海宿りけり 中村晃也
眼の厳しさから鮭の過ごした荒海を想った着眼がユニーク。
- 4) 傍に寄り何を悩むか聴いてみよ 矢澤正二
少女像の硬い表情を見て、心の内を知りたくなった。